

2020年 7月16日

NO. 108

ぶったあ

通信

発行 社会福祉法人 ぶったあ福祉会

〒六五六一四〇一 淡路市岩屋四八八の一

みんなの家 ☎ (0799) 70-6145

みんなの家 Fax (0799) 70-4001

携帯電話 090-8211-5087

2020年に入り、初めての「ぶったあ通信」です。新型コロナウイルスの影響も少し落ち着いてきましたが、厳しい生活に追い込まれている人達も大勢いらっしゃると思います。

新しい年を迎えた頃、新型コロナウイルスがこれほど生活を一変させる程の猛威を振るうとは思ってもいませんでした。

この間、テレビやネットではコロナの情報が毎日配信されています。情報は大切ですが、自分自身が情報に振り回されているなど感じる時があります。わからないまま怖がったりすることが差別につながるのだと思いつつ、信頼できる情報と冷静な判断が大切だと考えさせられる日々でもあります。

障がいのある人たちが町で生きて行く時、かかりつけのお医者さんや専門のお医者さんの存在は大きいものがあります。

う考えると、このたいへんな時期だからこそ、いつも以上に医療に携わる人達には感謝の言葉しかありません。6月からみんなの家には、もう一人看護師さんが来てくれています。受診に同行してもらったり、薬のことやいろいろ相談して心丈夫です。

中谷勇一



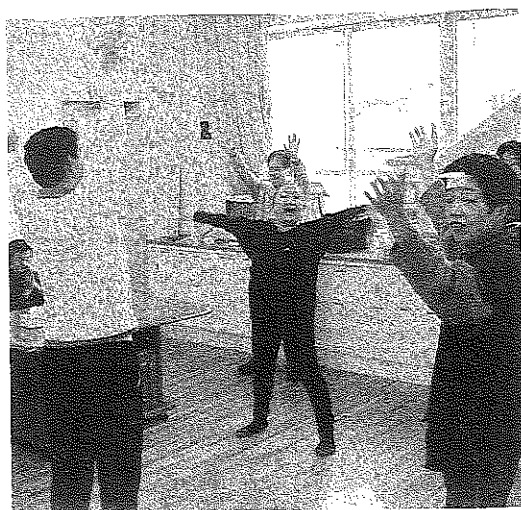
2020年は、私達の作業所「ぶったあ」が立ち上がって31年になる。記念の祝いは、忙しいやら、恥ずかしいやらで一度もしたことがない。時は過ぎて、思い出は余りにも多く、大きく私達の心に刻まれている。一人一人のエピソードは笑いなくしては、涙なくしては語れない。家族も、地域も巻き込んだ「ぶったあ」の歴史がある。まだまだ続くだろう、これからも。

職員紹介

赤松 典嗣	伊郷 真一郎	岩井 昌久	上村 友規	榎本 百合子	小野川 千歳	片山 英樹	川野 耕治	澤井 祐子	地行 千世子	城下 朝子	城下 都	鈴木 陽一	高田 健	高田 直美	高辻 芳幸	立木 由佳	塚本 幸子	戸塚 雅彦	中郡 英二	中谷 秀子	中谷 勇一	富田 さちえ	繁田 晴美	東根 千恵	東根 富子	藤井 蘭	藤永 憲	藤森 美和	古市 みゆき	保地 みちか	正木 君枝	松本 令子	山崎 幸美	米田 静子
-------	--------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

(五十音順)

<<事業紹介『生活介護』>>



○事業概況
 自立した日常生活または社会生活を営む上で、支援が必要な利用者に日中活動の場を提供することを目的としながら、その中で、日常生活上の支援として、排泄及び食事の介助、創作活動又は生産活動の機会の提供、日常生活における相談を行っています。

特に建物の中での支援のみならず、本人の希望を聞きながら、できるだけ外に出て身体を動かしたり、社会参加の機会を作っています。

職員はメンバー一人ひとりと、より良い関係を作りながら支援するように努めています。

△こんなことをやっています△
 自宅から、あるいはグループホームから、知的や身体、精神の障害を持った方々が、現在15名利用しています。年齢は、20〜69歳までと幅広いです。

午前中は、季節のぬり絵をしたり、好きな音楽を聴いたり、利用者間で会話を楽しんだり、ゆっくりとした時間を過ごしています。

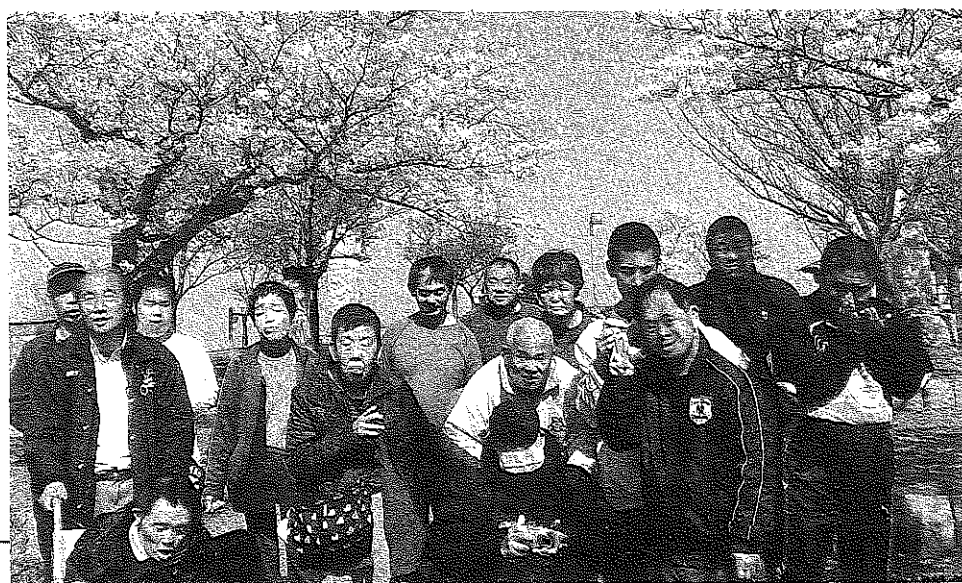
昼食は、「ぶったあ」が運営している食堂「ひとやすみ」へ車で行き、自分の好きなメニューを選んで、食べています。

地域の人達との、出会いも大切にしています。

午後からは、運動もしたいので、近くの、淡路島公園や景観園芸学校、開鏡観音寺などへ散歩に出かけます。桜の満開の季節には花見に行きました。おやつとお茶を持って、自然の中で新鮮な空気と眺めを楽しみ、気分も晴れやかになります。

障害があっても、自分の生まれ育った地元で暮らしたい。
 自立と社会参加の促進を目指しています。

赤松典嗣



<<ピープルファーストの活動>>

△ピープルファーストって？△

1973年、アメリカのオレゴン州で、知的障害をもつ人たちの会である少女が「障害者としてでなく、まず人間として見てほしい」と発言したことがきっかけで生まれた運動です。

日本では1995年に東京で生まれ、全国に広がっていきました。

「ぶったあ」は、長年「兵庫ピープルファースト」に参加しており、「三田市の監禁事件」や「津久井やまゆり園事件」、「旧優生保護法」についての勉強会やそれらについてのデモ行進を行ったり、お花見などで仲間の交流を深めたりしています。去年は、大阪まで泊りがけで全国大会にも行きました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で活動できていませんでしたが、7月23日（木）に神戸で会が行われる予定です。久しぶりに仲間に出会えるので、みんなすごく楽しみにしています。



<<事業紹介『就労継続支援B型事業』>>



〈パン・お菓子工房〉
 コロナ流行当初は、不安で落ち着きがなくなったりしていたメンバー達も、今では慣れて以前のようにおだやかにこなすようになってきました。
 現在、販売の場が少なくなりパンの製造日を一日減らしています。
 「たくさんお仕事したい。」毎日、お菓子やパンを作りたいというメンバーのみんなの気持ちを毎日のように聞きながら、日々仕事をしています。
 そんなこともあり、時間もあるので、新しく販売できるお菓子を考えている所です。
 コロナでできたという時間を使って皆さんに喜んでもらえるようなお菓子ができあがればいいなあと思います。

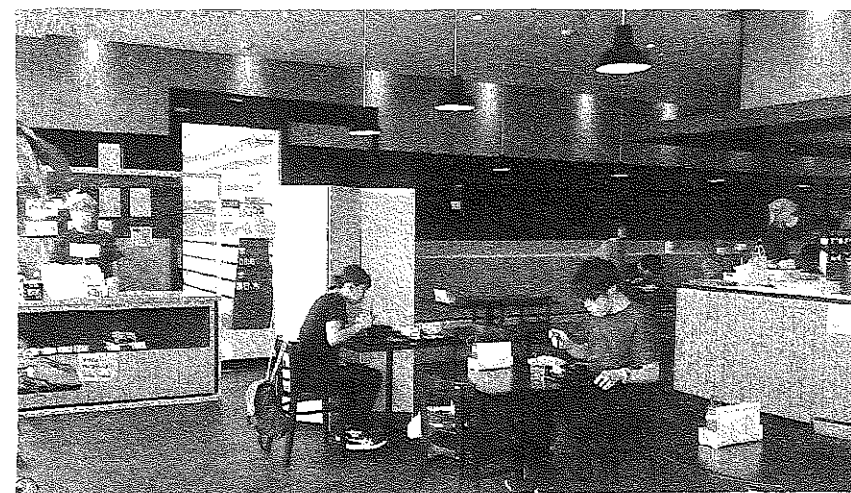
保地みちか

〈草刈り〉
 草刈りでは一般家庭の庭園の草引き、空き地、田んぼなどの草刈りや草刈りの依頼を頂いております。
 仕事内容としては、職員が草刈り機で刈った後、メンバー達と職員で草を集めて袋に詰める作業を行っています。1日では終わらない場所もありますのでその場合は何日かに分けて行っています。
 草を集めるのが得意な人、袋に集めるのが得意な人、メンバー一人一人が自分の得意な仕事を自分なりに頑張って作業をしています。
 職員もサポートしながら「草刈りを依頼して良かったです。」と喜んでもらえるように頑張っています。
 これから暑くなってきたので依頼件数も増えてきます。メンバー、職員の体調に気をつけながら作業していきたいと思っています。

中郡英二



<<事業紹介『就労継続支援B型事業』>>



○事業概況
 利用するメンバーに対して、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の日常生活における相談などを行っています。

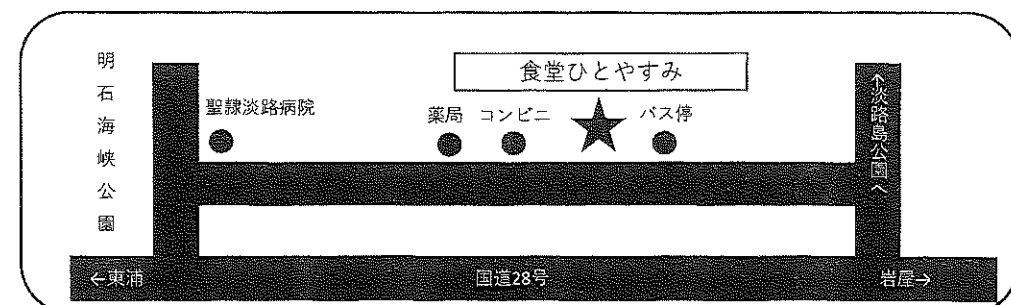
〈食堂「ひとやすみ」〉
 「ぶったあ」が運営する食堂「ひとやすみ」は、早いもので、オープンしてから7年目になりました。
 その中で、働いて下さっているメンバーさん達がいます。それぞれのメンバーさんが持つ障害によっても、「得意・不得意」があるのは勿論ですが、一人一人の個性を伸ばしていくことの難しさを感じます。
 そこで、メンバーさんにもお話を聞かせてもらいました。
 「働いて、自分の目に焼き付いた思い出や記憶がいっぱい増えてうれしいです。」「食堂で働いているのは楽しいです。」などの言葉を頂きました。
 彼らが、地域の中でとけこんで働ける場所・また自分にとっての居場所を広げることができたのは、一緒に働いている職員にとっても嬉しいことです。
 今年は、コロナウィルス感染症などもあり、現状としては厳しい中でも、少しでもお客様が安心して「ひとやすみ」ができるようメンバー・職員ともどもみんなで精進してまいりたいと思いますので、応援のほどよろしくお願い致します。
 小野川

食堂ひとやすみ

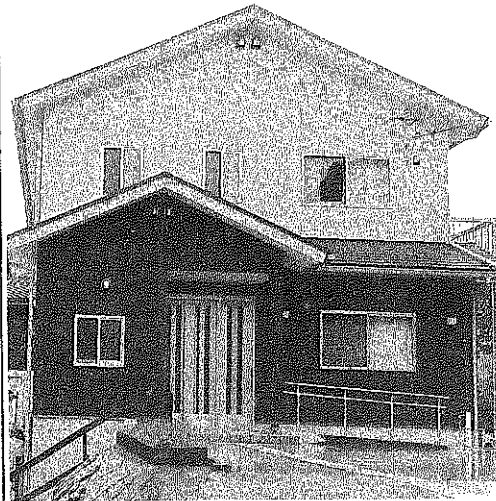
障害者総合支援法
 就労継続支援B型事業



営業時間 8:30~15:30 定休日 毎週水・日曜日・祝日



<<事業紹介『共同生活援助事業（グループホーム）』>>



○事業概況
グループホームを利用する方々に、共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の支援や必要な日常生活上の世話をを行います。

グループホームは、障がいのある人たちが町の中で生きるための拠点であり、一人住まいに向けての生活の場としても大事な場所です。安定した運営と、私達職員のスキルアップを求められています。

現在、「ここから」に1名増えて5名、「いろは」に5名が暮らし始めています。女性の「歩歩」は昨年部屋が増築され3名から4名になりました。

△グループホーム「いろは」△
ぶったあにはグループホームが3つあります。

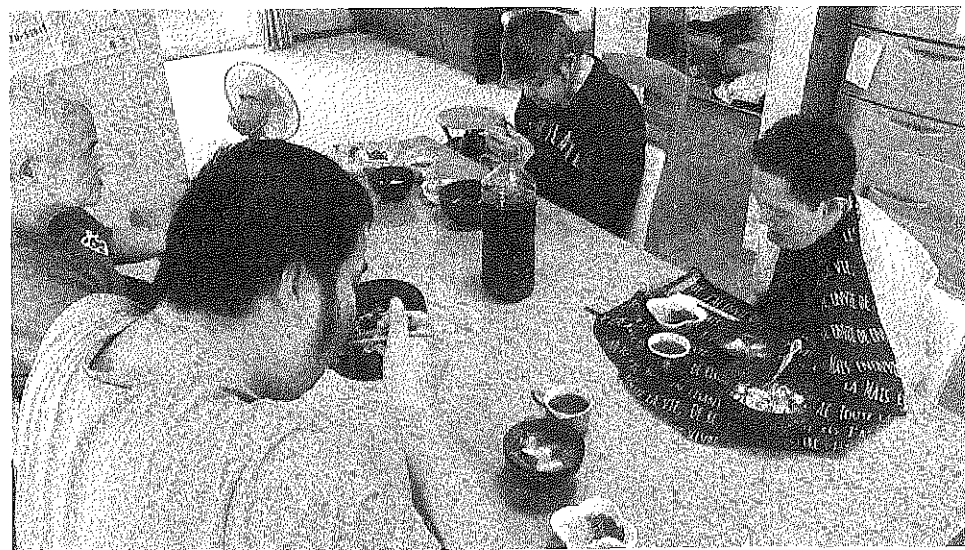
出来た順に「ここから」、「歩歩」、「いろは」とあり、「歩歩」が女性の、「ここから」、「いろは」が男性のグループホームです。

このうち、「いろは」について少しご紹介すると、現在5名の方が生活しておられ、仕事の時間をそれぞれの場所で過ごされ、夕方グループホームに帰ってこられる。そのつみ重ねが私たちの日常になっていきます。

「今度これが食べたいから作って」「分かった。次の休みの日のお昼はそれにするわ」、日常の中の一コマ。

ひとりひとりの生活があり、重なる時間を一緒に過ごす、その時に気付くこともあり、ときにはいろいろな感情を交えながら一緒に考えていく、そんな家です。

鈴木健



<<事業紹介『就労継続支援B型事業』>>

△花の店△
今年は、二ニュースで話題になった新型コロナウィルスや緊急事態宣言で休業していた花の店ぶったあ。

今年の5月25日に再び、営業再開しました。

再開当初は、売り上げは、絶好調でしたが、現在は売り上げは、ウラ目にでてしまい、売り上げが、売れない状況になってしまい、私は、「このままではやばいぞ、破産や倒産になってしまおう。」と感じました。

ぶったあの皆に考えてほしいです。

現在、7月1日から、レジ袋が、有料になり、お金がいります。レジ袋（小）1円、（中）2円、（大）3円となります。

お客様には、来店される際には、エコバッグやマイバッグで来店していただくように呼び掛けていきたいと思っています。

尼崎良一



「ぶったあのパン・お菓子」販売ご協力に感謝！！

- | | | |
|------------|-------------------------|----------|
| ・かんぼの宿 淡路島 | ・カプチーノ | ・にこにこ |
| ・ゆうらぎ（特養） | ・淡路市役所 | ・ほほえみ |
| ・パルシェ物産館 | ・佐野デイサービス | ・石屋小学校 |
| ・社協一宮支部 | ・栄光園（特養） | ・岩屋中学校 |
| ・社協岩屋支部 | ・聖隷淡路病院 | ・岩屋事務所 |
| ・柴宇淡路食彩（株） | ・サナあわじ（株）
（聖隷淡路病院売店） | ・花の店ぶったあ |
| ・せきれいの里 | ・あわじ花さじき | ・食堂ひとやすみ |
| ・イオンサロン | | |

<<事業紹介『共同生活援助事業（グループホーム）』>>

〈グループホーム「歩歩」〉
「歩歩」は女性専用の住居で現在、4名の利用者が生活しています。
「歩歩」の一日は、6時30分の朝ごはんから始まります。と言っても、UさんやKさんは、朝の5時頃から自室でござごそしたり、トイレに何回も行ったり来たりして、みんなが動き出すのを待ち構えています。
食事が終わると、職員と一緒に丁寧に歯磨きをします。
8時45分頃に迎えに来る送迎車両に間に合うようにトイレや身支度に時間を追われます。
4人そろって駐車場まで歩いていきます。車に乗り込んで「いつてらっしゃーいー」
15時30分、「みんなの家」での作業を終え、「ただいまー！」と明るい声で帰ってきます。
まずは手洗いをし、リビングでコーヒーやお茶を飲みながらしばしの団欒の後、それぞれの居室に入って、

それぞれくつろぎの時間を過ごします。
18時頃、「晩御飯できたよー」の職員の声に我先にと食堂の自分の席に着きます。
「いただきます」の後、めいめいのペースで楽しい食事が始まり、「ごちそうさま」で食器を流しまで運んで夕食が終わります。
入浴の順番も決まっています。Nさん、Uさん、Sさん、Kさん。職員に介助してもらって、きれいにさっぱりと気持ちがいいお風呂の時間は終わります。
寝る時間は利用者それぞれ違いますが、歯磨きが終わったら、自室に入り、思い思いの時間を過ごします。
21時を過ぎる頃には、利用者の寝息やいびきが聞こえてきます。
今日も一日お疲れ様でした。
伊郷真一郎



<<事業紹介『共同生活援助事業（グループホーム）』>>

〈グループホーム「ここから」〉
2008年にオープンしたグループホーム「ここから」に、私は2012年頃から夜勤の世話人として関わっています。K君とは同学年の45歳、他のメンバーも40代から50代周辺の『昭和世代』で仲間のような気持ちで日々接しています。私以外には夜勤の職員川野さん・岩井さんを中心に、家庭料理をパートの女性の方々に日々支えてもらっています。
「障害のある人も地域で暮らす」という理想に共感し仕事を始めましたが、日々、メンバーさんに接する中で、ほんとうに障害のある人にとって快適なホームになっっているか、考えさせられることは多いです。
メンバーさんの状態も日々変わります。職員の価値観や考え方も様々です。どの仕事もそうですが、簡単なようで奥が深く、本当に難しい仕事です。
でも、4人にはそれぞれの面白み、優しさがあり、こちらが受け入れる余裕のある心があれば、そ

の面白みも奥が深いです。何事も積極的な方、冗談好きな方、目で訴える方、声が大きくダンディーな方。職員同様の個性的な面々です。「障害があっても共に学び、共に生きる」というぶつたあ目標を職員・メンバー・地域を含め皆で推進していければと思います。そのためにはお互いの困りごとを知ること、知ろうとすることから始まるのではないかなと思っています。
城下陽一



<<2019年度事業報告書より>>

1995年(平成7年)1月17日5時46分52秒、兵庫県淡路島北部の明石海峡を震源として、M7.3の兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)が発生しました。たくさんの方が亡くなり、私達は自然災害の怖さを身をもって経験しました。同時に、95年は「ボランティア元年」とも呼ばれ、多くのボランティア団体が生まれ、助け合いの大切さも学びました。その後も、地震に限らず大きな自然災害が頻繁に起り、その都度社会のあり方が問われてきました。

今年の1月17日、「阪神淡路大震災」から25年を迎えました。四半世紀の年月は私達から、震災の記憶を少しずつ忘れさせます。「ぶったあ」は、震災を忘れないために毎年「ぶったあ元氣もちつき大会」を行っています。今年も、1月18日に「ぶったあ元氣もちつき大会2020」阪神淡路大震災から25年・みんなで助け合ったあの日を忘れずに「」を行いました。が、その頃から新型コロナウイルスの影響が出はじめ、3月にはイ

ベント等が中止になり、社会活動や授産活動ができなくなりました。新型コロナウイルスが次年度の運営にどれだけ影響があるのかわかりませんが、しばらくは目に見えないウィルスという自然の脅威と共存しながら、事業を維持し、展開していかなければなりません。みんなで知恵を出しながらこの難局を乗り越えて行きたいです。

2019年度は、新しい事業として、10月から「特定相談支援」と「障害児相談支援」を始めました。事業内容としては、サービス等利用計画についての相談及び作成などです。障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、支援するサービスです。

B型の授産事業はおおむね順調に進みましたが、2020年3月はコロナの影響で販売場所が少なくなり売り上げが減少しました。2020年度については、さらなる影響が出てきそうです。生活介護はできるだけ外に出かけ、身体を動かすよう支援してい



中谷 勇一

ます。グループホームは、「歩歩」が1部屋増築し、新しく利用者が入りました。大半の方が自宅に帰れません。持病を持つ方も多く、医療機関との連携がより重要になっています。

社会福祉法人は、社会福祉事業及び公益事業を行うにあたり、日常生活または社会生活上の支援を必要とする人々に対して、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければなりません。そのため、職員一人一人が支援者としての成長が問われます。本年の事業実績を総括し、さらなる経営体質強化を図るとともに、法人を取り巻く環境の変化を的確にとらえ、地域に求められる障害者福祉事業を推進していきます。

<<事業紹介『特定相談支援／障害児相談支援』>>

○サービスの内容

①基本相談支援

障害者の福祉における様々な問題について、本人及び保護者の相談にのり、情報提供や相談支援を行う。また、成年後見人制度といった障害者の権利擁護についての相談も行う。相談窓口に関しては、基幹相談支援センター、特定相談支援事業所となっている。

②計画相談支援

・サービス利用支援
サービスの申請時に、障害者本人及び保護者との面談を行って、困り事や将来について相談を行いつつサービス等利用計画を作成する。サービスの利用開始にあたっては、サービスを提供する事業者と連絡を取りながら調節を行い、効果的にサービスが提供されるように図る。

・継続サービス利用支援
提供されたサービスの利用状況、及び生活上で効果的に用いられているかもモニタリ

ングを行い、サービス事業者と連絡調節をしながら適切に運用される様にサービス等利用計画を見直す。

③障害児相談支援

・障害児支援利用援助

障害児通所支援を利用する際の申請時に、適切なサービスが提供されるように障害児支援利用計画の作成を行うと共に、サービス利用開始にあたって事業者などと連絡調整を図る。

・継続障害児支援利用援助

提供されたサービスの利用状況、及び生活上で効果的に用いられているかもモニタリングを行い、サービス事業者と連絡調節をしながら適切に運用される様に障害児支援利用計画を見直す。

ウェブページにイベントなどの活動報告を更新しています！
ぜひご覧ください。



<http://awaji-butta.or.jp/>

<<理事会・評議員会>>

2019年度 第4回理事会

2020年3月19日(木)

★議案内容

1. 今年度補正予算と来年度当初予算について
 - ・ 来年度の事業計画について
 - ・ 監事監査の時期について
2. 次回評議員会に向けての準備
 - ① 求人サイト加入契約について
 - ② 法人損害賠償保険の加入について
3. 各方面からの寄付や助成金について
4. その他の報告事項

・ 理事長の執行状況報告(定款第19条3項)

2020年度 第1回理事会

2020年6月18日(木)

★議案内容

1. 2019年度決算書と事業報告の確認
 2. 次回定時評議員会を決議省略とする件
 - ・ その他の報告事項
- ・ 理事長の執行状況報告(定款第19条3項)

2019年度 第3回評議員会

2020年3月27日(金)

★議案内容

1. 今年度補正予算ならびに、来年度事業計画及び当初予算
 - ・ 求人サイト加入契約と法人役員賠償責任保険契約
2. 議案資料と同意書の送付

★理事会

- ・ 理事長 中谷勇一(施設長)
- ・ 理事 小南廣之(淡路市社会福祉協議会会長)
- ・ 理事 竹代久江(利用者の親)
- ・ 理事 中谷秀子(施設職員)
- ・ 理事 中村明裕(医師)
- ・ 理事 藤永憲(学識経験者)

★評議員会

- ・ 評議員 岡田有美(医師)
- ・ 評議員 桑名泰広(利用者)
- ・ 評議員 関美恵子(団体役員)
- ・ 評議員 永井満(学識経験者)
- ・ 評議員 平田國雄(山田まちづくり協議会副会長)
- ・ 評議員 松田和義(淡路市社会福祉協議会副会長)
- ・ 評議員 山谷育代(利用者の親)

ご寄付ありがとうございます

(6月15日・敬称略)

尼崎和美・尼崎和良・岩屋キリスト教会・
藤井康文・中村クリニック・川口みどり・
川端正男・中谷勇一・栗山千代子・
片山商店・モンマートなかむら・
中谷秀子・竹代久江・片山輝久・
永井美和子

ご協力ありがとうございました

ご寄付
うれしいね!



ご寄付のお願い

「ぶったあ福祉会」では、障がい者の地域生活を支援するために様々な事業を展開しています。どんな障害があろうと、働き、社会参加していく場を上げようと日々取り組んでいます。そのようなぶったあ福祉会の理念を実現するために、財政的な面でご支援いただける方を募集しています。金額はいくらでも結構です。宜しくお願い致します。

- ◇ご寄付いただく場合には、申請書に記入が必要になります。
- ◇社会福祉法人への寄付には、税制上の優遇処置があります。確定申告時に、寄付された領収書を提出してください。

【郵便振替】

00940-4-276683 社会福祉法人ぶったあ福祉会

【淡陽信用組合】

岩屋支店(023) 普通預金 0146388
社会福祉法人ぶったあ福祉会 理事長 中谷勇一

★お問合せ先

ぶったあ福祉会事務局 会計担当 立木
(電話番号 0799-70-6145)

ぶったあに ご注文ください

授産活動

”ぶったあ”ではメンバーの工賃向上のために様々な活動を行っています。

ぜひ、ご購入・ご贈答にご利用ください。

花の販売・花植え

花の苗や鉢花、土や栄養剤など

「花の店ぶったあ」で販売しています。
庭の手入れや花で飾ったりします。

さをり織り

織った布で財布やバッグ、ショールなど
作った製品があります。ご購入をお願いします。

草刈り・墓地の掃除

ご自宅のお庭、放置した土地等、きれいに
仕上げます。ご要望で花を植えることも
出来ます。

パン・クッキー・カップケーキ

手作り焼きたてをお届けします。

※食パン360円 山食パン300円 菓子パン120円～

現在は月・木曜日に焼いています。

ご注文のお電話を待っています。



社会福祉法人

ぶったあ福祉会

お気軽にお電話下さい。

☎0799-70-6145 / Fax0799-70-4001